

## 高齢者ケア施設における看護管理者のネットワーク構築に関する研究

勝野とわ子<sup>1)</sup>, 横井郁子<sup>1)</sup>, 出貝裕子<sup>2)</sup>, 中村恵子<sup>3)</sup>, 奥野茂代<sup>4)</sup>,  
小山敦代<sup>3)</sup>, 吹田夕起子<sup>3)</sup>, 太田規子<sup>4)</sup>, 千葉真弓<sup>4)</sup>, 神崎由紀<sup>4)</sup>

1) 首都大学東京, 2) 東京都立保健科学大学保健科学研究科  
3) 青森県立保健大学, 4) 長野県看護大学

【目的】高齢者ケア施設に勤務する看護管理者のもつネットワークおよび情報収集の実態から看護系大学の役割やより効果的なネットワーク構築への示唆を得る。

【方法】平成 16 年度高齢者ケア施設看護管理者研修会の参加者 93 名を対象として, 質問紙調査を実施した (回収率 82%)。質問紙の内容は, 情報へのアクセス方法, 他の看護職とのネットワーク, 看護系大学とのつながり, 職場での問題・解決方法などであった。質問紙の返送をもって研究参加の同意が得られたとした。

【結果】情報へのアクセス方法として多かったのは, 施設長あるいは看護職宛ての郵送物, 看護協会ニュースであった。インターネット使用については, 現在使用している管理者は 20%と少なく, 使用希望者は 40%に上がっていた。現在, 他の看護者とネットワークを有している管理者は約 30%で, その多くは看護管理者会や研修会から発展したものであった。ネットワークに期待するものとして, 情報交換, テーマ別勉強会, 事例検討会, 心のよりどころ, が挙げられた。職場で求められる業務内容にギャップを感じたり, したくても出来ないことがある管理者は 60%いた。また, 地元の看護系大学とのつながりが全くない, 殆どない施設が 60%に及んだが, 今後連携を希望する管理者は, 50%いた。

【結論】高齢者ケア施設の管理者の多くは, 他の看護職者とのネットワーク構築を希望していた。今後インターネットの普及と看護系大学が地域の特徴を生かしたネットワーク支援に果たす役割は大きいことが示唆

された。(本研究は, 平成 16 年度厚生労働省科学研究費補助金 (医療技術評価総合研究事業) による研究の一部である。)

### Ⅲ. 各プログラムの実施要項

1. 高齢者ケアスキルアップ実地研修
2. 高齢者ケア施設の看護管理者研修

# 1. 高齢者ケアスキルアップ実地研修

## 1) 研修者募集要項

## 2) 実地研修要項

### (1) 実施要項

### (2) 研修直後のアンケート

(研修者, 指導者)

### (3) 研修 2 ヶ月のアンケート

(研修者, 施設管理者)

## 3) フォローアップ研修募集要項

### (1) 募集要項

### (2) 事前アンケート

### (3) 事後アンケート

## 高齢者ケアスキルアップ研修（実地研修） 研修者募集案内

はじめに

高齢者ケアは、国民的課題として注目を浴び、ケアサービスの量と質両面にわたる充実が求められていますが、人材育成が追いついていない現状です。高齢化の進展、入院日数短縮、介護保険等の社会情勢の中で、介護保険施設には医療依存度の高い高齢者が増加し、身体アセスメントを含む判断力・看護実践力、多職種間の協働・リーダーシップ等、看護職に求められる能力・資質は高くなっています。そこで、高齢者ケアの質の向上を目指し、高齢者ケアの中心的役割を担う介護保険施設看護職のケア実践力の向上を目的として実地研修をすることになりました。今年度は、厚生労働科学研究補助金の助成による研究事業の一環として、全国 3 都県において看護師を対象に、地域支援病院等の教育的機能を活用した実地研修プログラムを作成し、下記の通り実施致します。

ねらい：実地研修を通して看護職の専門的スキルを習得することによって、高齢者ケアの質的向上をめざす。

- 研修目標：1. 高齢者の症状観察・アセスメントの能力を身につける。  
2. 高齢者に多い医療処置に関する看護職としての関わり方を身につける。  
3. 高齢者の看取りのケアについて再考する。  
4. リスクマネジメントの考えを習得し、その実際を身につける。  
5. 高齢者の人権の尊重と倫理的対応の実際を学ぶ。

研修対象：介護老人保健施設、介護老人福祉施設に従事する看護師

研修方法：病院等における実地研修  
プリセプターと共に高齢者の看護ケアや医療処置を体験、実施する。

研修内容：高齢者ケアの実践に必要な項目  
症状観察、症状アセスメント、医療処置、緊急時の対応、看取りのケア、  
リハビリテーション、痴呆への対応、感染管理、安全管理、  
リスクマネジメント、倫理的判断等

研修期間および研修場所

研修場所	青森県立中央病院 青森市東造道2丁目1-1	十和田市立中央病院 十和田市西十二番町14-8
研修期間	10月1日(水)～3日(金) 予定	11月12日(水)～14日(金) 予定
募集人数	5名	5名

研修費：無料 ただし交通費、宿泊費は自己負担とします。

修了証：研修終了者には修了証を交付します。

その他：研修後には、アンケート調査などにご協力いただきます。

応募方法：研修を希望する方は、別紙に必要事項を記入の上、FAXにて8月20日までに下記に申し込んでください。受講者の決定は施設あてに、通知します。なお、受講希望者が多数の場合には、抽選等により決定いたします。

<宛先>〒030-8505 青森市大字浜館字間瀬 58-1

青森県立保健大学健康科学部看護学科

担当 出貝 TEL 017-765-2058 FAX 017-765-2059

主催者：厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）

「介護保険施設看護職の教育・研修プログラムの普及拡大並びに看護管理者育成・支援モデルの開発」

研究代表者 中村 恵子（青森県立保健大学）

### 研修プログラム例

期日	時間	研修内容
1日目 (水)	10:00~12:00	実習オリエンテーション プリセプター紹介 施設見学
	13:00~16:00	病棟での研修 (症状観察、症状アセスメント、医療処置、緊急時の対応、看取りのケア、リハビリテーション、痴呆への対応、感染管理、安全管理、リスクマネジメント、倫理的判断等)
2日目 (木)	9:00~16:00	同 上
3日目 (金)	9:00~12:00	同 上
	13:00~15:00	研修のまとめ グループ討議

別紙

宛先

FAX 017-765-2059

(出頁)

FAX用紙

### 研修参加申込書

氏名	性別 男・女	年齢 歳
勤務施設名		
及び住所 〒		TEL ( )
資格及び担当業務		
業務経験年数	福祉施設 _____ 年 医療施設 _____ 年 その他 ( ) _____ 年 合計 _____ 年	
希望研修施設	<u>希望する施設に○印をおつけください。</u>  青森県立中央病院 十和田市立中央病院	
研修希望項目	<u>特に学びたいもの上位3項目に○印をおつけください。</u> 症状観察 症状アセスメント 医療処置 ( ) 緊急時の対応 看取りのケア リハビリテーション 痴呆への対応 感染管理 安全管理 リスクマネジメント 倫理的判断 その他 ( ) *ただし、研修施設や時期によってできない項目もありますのでご了承ください。	
ご自分の研修課題と研修希望動機を記載してください。		
その他 研修に対する意見・要望等がありましたらご記入ください。		

研究代表者

中村 恵子 殿

## 承 諾 書

「介護保険施設看護職の教育・研修プログラムの普及拡大並びに看護管理者育成・支援モデルの開発」（平成 15 年度厚生科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業）の一環として実施される「高齢者ケアスキルアップ研修」へ別紙に示された内容で説明を受けました。

説明内容を遵守して参加し、資料を提供することに承諾します。

説明内容を遵守して参加しますが、資料として提供することには承諾しません。

平成 年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_ 印

## 研修参加にあたってのご説明

### 1. 患者・家族への倫理的配慮

研修者は看護職としての倫理を遵守しながら研修を行います。

### 2. 研修者への倫理的配慮

本実地研修は、看護職の専門的スキルを習得することによって、施設における高齢者ケアの質的向上を目指すものです。

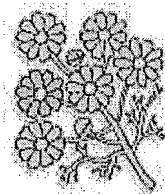
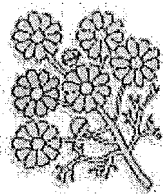
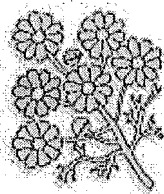
本実地研修は、厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）の助成を受けて行なう研究の一部であり、以下の資料は事業評価として研究に活用されます。その際は、個人や施設名が特定されることのないように配慮し、研修者から了解がいただけない場合でも本実地研修の参加には何ら支障がないことを保証します。

#### 事業評価活用資料

- ・レポート
- ・アンケート調査
- ・グループディスカッションの内容



# 高齢者ケアスキルアップ実地研修 実施要項



## [青森班]

平成 15 年 10 月 1 日(水)～10 月 3 日(金) 青森市

平成 15 年 11 月 12 日(水)～11 月 14 日(金) 十和田市

平成 15 年度厚生労働科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業)  
「介護保険施設看護職の教育・研修プログラムの普及拡大並びに  
看護管理者育成・支援モデルの開発」  
研究代表者 中村 恵子(青森県立保健大学)

# 目 次

- I. はじめに
- II. 研修のねらい
- III. 研修目標
- IV. 研修対象
- V. 研修施設と時期
- VI. 研修内容
- VII. 研修方法
- VIII. 研修者とプリセプターの役割
- IX. レポート
- X. アンケート調査
- X I. 事故発生時の対応
- X II. 倫理的配慮

青森県立中央病院における研修について

十和田市立中央病院における研修について

## I. はじめに

介護保険開始から3年が経過し、高齢者介護に係る施設の整備と介護サービスの充実が図られてきた。平成9年に出された「21世紀医学・医療懇談会第2次報告（平成9年2月21日）」においては、介護関係人材育成の視点として、1. 専門的知識・技術と豊かな人間性を兼ね備えた資質の高い人材の育成、2. 福祉・医療・保健が連携した総合的なチームケアの推進、3. 介護・福祉についての認識の高揚、の3点が示され、人材の育成に努力されているところである。しかしながら、教育の機会の不足や指導教育担当者の不足により、人材育成については課題が残されたままである。また、医療依存度の高い利用者が介護保険利用施設に増加していることに伴い、現状にみあったサービスを提供できる人材を育てる必要性が高まってきている。

本研究は、厚生労働科学研究費補助金の助成を受け、高齢者ケアに従事する介護サービス提供者の実践力の向上と、施設の看護管理者育成プログラムの開発、普及を行っていく予定である。

平成15年度に実施する「高齢者ケアスキルアップ実地研修」は介護保険施設の看護職を対象に、教育的機能をもつ地域支援病院の協力を得て、実地研修プログラムを実施するものである。

## II. 研修のねらい

実地研修を通して看護職の専門的スキルを習得することによって、施設における高齢者ケアの質的向上をめざす。

## III. 研修目標

1. 高齢者の観察およびアセスメント能力を身につける。
2. 高齢者に多い医療処置に対する看護職としての関わり方を身につける。
3. 高齢者の看取りのケアについて再考する。
4. リスクマネジメントの考え方を習得し、その実際を学ぶ。
5. 高齢者の人権の尊重と倫理的対応の実際を学ぶ。

#### IV. 研修対象

介護老人保健施設，介護老人福祉施設に勤務する看護職

#### V. 研修施設と時期

平成 15 年 10 月 1 日（水）～3 日（金） 青森県立中央病院

平成 15 年 11 月 12 日（水）～14 日（金） 十和田市立中央病院

#### VI. 研修内容

症状観察，症状アセスメント，医療処置，緊急時の対応，看取りのケア，  
リハビリテーション，痴呆への対応，感染管理，安全管理，リスクマネジメント，  
倫理的判断等

##### ミニ講義

褥瘡ケア，感染管理，リスクマネジメント，看取りのケア，倫理的判断，  
リハビリテーションなど

#### VII. 研修方法

研修者は，自己の希望する内容や課題を達成できるよう，プリセプターと共に，高齢者の看護ケアや医療処置を体験，実施する。体験できないものは見学するか，説明を受ける。

#### VIII. 研修者とプリセプターの役割

##### 1. 研修者の役割

- 1) 研修者は，自己の課題や希望を達成できるようにプリセプターや看護師長に申し出て，積極的な研修に努める。
- 2) プリセプターの助言を受けながら学習の機会を積極的に活用する。
- 3) 研修中にうまくいったこと，困ったこと，負担に思ったことなどはプリセプターに相談し，指導や助言を受ける。

- 4) 看護ケアや医療処置を実施する場合は、プリセプター等と相談し、指導を受け実施する。
- 5) プリセプターの第一線のケア技術を見学し、指導を受ける。
- 6) 必要に応じて関連知識の自己学習をしておく。

## 2. プリセプターの役割

- 1) 調整：研修者が研修目標を達成できるよう、研修者の学習ニーズに基づき、学習環境を整える。また、研修者と患者、家族との仲介をし、研修に関する倫理的配慮を行う。
- 2) ロールモデル：研修者がケアスキルアップするため、専門的かつ最新の技術を示し、必要に応じて説明する。
- 3) 指導：研修者と定期的に打ち合わせを行い、研修の進捗状況を把握し、研修目標が達成できるよう指導・助言する。研修者が看護ケアや医療処置を実施するにあたっては、十分に話し合い、安全に行えるよう指導する。

## IX. レポート

研修者は、研修終了後に以下の内容を含むレポートを提出する。

- 1) 内容
  - ①自分の研修目的・内容とその達成状況について
  - ②研修を施設でどのように活用していくか
  - ③今後の自分の課題
- 2) 書式 A4版、横書き、2～3枚（引用、参考文献を含む）  
ワープロ書きが望ましい。ワープロの場合はフォントサイズ 10.5～12 を使用
- 3) 提出期限 青森県立中央病院で研修した方 平成 15 年 10 月 24 日(金)  
十和田市立中央病院で研修した方 平成 15 年 12 月 5 日 (金)
- 4) 提出先 〒030-8505 青森市浜館字間瀬 5 8 - 1  
青森県立保健大学看護学科  
〇〇 宛（所定の封筒を使用し郵送）

## X. アンケート調査

研修の成果および研修後の継続性などについてアンケート調査を実施する。

### 1. 研修者

- ① 研修最終日
- ② 研修終了2ヵ月後

### 2. 看護管理者

- ① 研修終了2ヶ月後

なお、調査用紙は後日郵送する。

## X I. 事故発生時の対応

研修者は、事故が起きないように安全には充分留意して研修する。万が一、事故が発生した場合は、直ちにプリセプターに報告し、プリセプターは必要に応じて、管理者へ報告すると共に、研究者にも連絡をする。

## X II. 倫理的配慮

1. 研修者は看護職としての倫理を遵守しながら研修を行う。
2. 本実地研修は、厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）の助成を受けて行う研究の一部であり、以下の資料を事業評価として研究に活用する。なお、研修者・研修者派遣施設管理者および実施施設の指導者に対し、研究の目的、方法、プライバシーの保護等を十分説明し、了解を得て実施する。また、データは、個人や施設名が特定されることのないよう配慮する。

### 事業評価活用資料

- ・レポート
- ・アンケート調査
- ・グループディスカッションの内容



研修プログラム <青森県立中央病院>

	時間	研修内容	担当者	場所
10月1日(水)	9:00	集合・更衣		総合受付
	9:30~10:00	打ち合わせ・実習オリエンテーション	小山, 中村 (研究者)	カンファレンスルーム
	10:00~11:00	病院紹介 施設見学	〇〇看護局長 〇〇看護局次長	
	11:00~12:00	プリセプター紹介 病棟研修	プリセプター	各病棟
	12:00~13:00	昼食休憩		食堂もしくは病棟
	13:00~13:40	講義 「感染予防」 「倫理的判断」	〇〇主幹看護師 〇〇看護指導監	カンファレンスルーム
	13:20~16:00	病棟研修		各病棟
10月2日(木)	9:00~12:00	研修		各病棟
	12:00~13:00	昼食休憩		食堂もしくは病棟
	13:00~13:40	講義 「褥瘡ケア」 「看取りケア」	〇〇主任看護師 〇〇看護班長	カンファレンスルーム
	13:15~16:00	研修		各病棟
10月3日(金)	9:00~12:00	研修		各病棟
	12:00~13:00	昼食休憩		食堂もしくは病棟
	13:00~13:20	講義 「リスクマネジメント」	〇〇看護指導監 ゼネラルスマネージャー	カンファレンスルーム
	13:20~14:00			
	14:00~14:45	研修者グループディスカッション (研修者と研究者)		カンファレンスルーム
	14:45~15:15	プリセプターグループディスカッション (プリセプターと研究者) 研修者はアンケート記入等		
	15:15~16:00	合同ディスカッション (研修者・プリセプター・班長・研究者)		



## 研修者配置及び担当プリセプター氏名

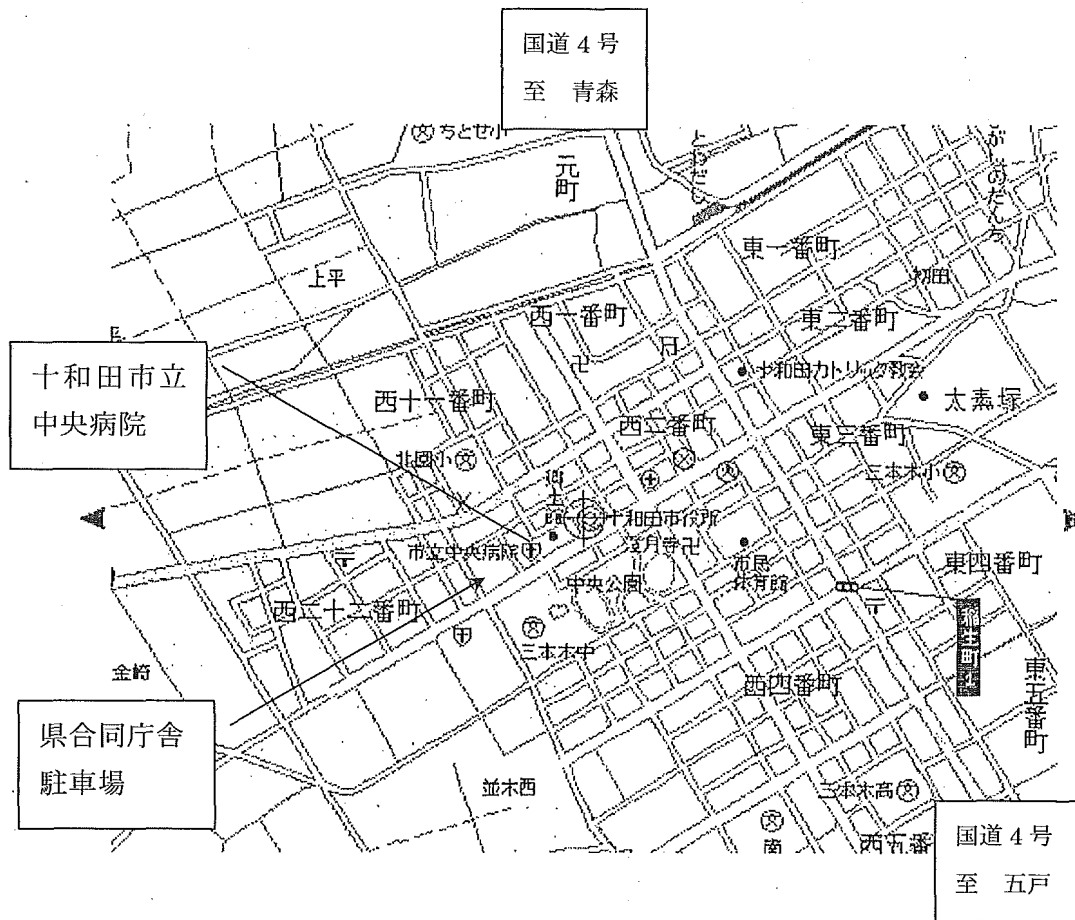
研修者 (所属)	主な研修希望内容	病棟 (電話)	プリセプター	病棟班長
A ( □□□ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 症状観察</li> <li>・ 症状アセスメント</li> <li>・ 緊急時の対応</li> </ul>	7 階西病棟 泌尿器科・内分泌 内科 (017-726-8071)	△△ △△	○○ ○○
B ( □□□ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療処置</li> <li>・ 感染管理</li> <li>・ 安全管理</li> </ul>		△△ △△	
C ( □□□ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 症状アセスメント</li> <li>・ 緊急時の対応</li> <li>・ 看取りのケア</li> </ul>		△△ △△	
D ( □□□ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 症状アセスメント</li> <li>・ 痴呆への対応</li> <li>・ リスクマネジメント</li> </ul>	9 階西病棟 脳神経外科, 神経 内科, 歯科 (017-726-8091)	△△ △△	○○ ○○
E ( □□□ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 症状アセスメント</li> <li>・ 痴呆への対応</li> <li>・ リスクマネジメント</li> </ul>		△△ △△	
F ( □□□ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時の対応</li> <li>・ リハビリテーション</li> <li>・ 痴呆への対応</li> </ul>		△△ △△	

## その他

- 1) 研修前に、各病棟の主な疾患の看護の他、自施設での感染予防、リスクマネジメントの取組み状況を自己学習して臨んでください。
- 2) 研修初日の集合場所：正面玄関 総合受付  
9:30 オリエンテーション (研究グループ)
- 3) 欠席などの連絡：看護局次長 017-728-○○○○
- 4) 服装：ユニフォーム (看護衣, ナースシューズ)
- 5) 控え室および会議室：3階カンファレンスルーム (ICU家族控え室隣)
- 6) 昼食：職員食堂を利用できます。
- 7) 駐車場：一般駐車場を利用できます。(無料券配布)
- 8) 名札：研修者の名札をつける (研究グループ準備)

# 研修施設

## 十和田市立中央病院



十和田市立中央病院

〒034-0093

十和田市西十二番町 14-8

電話 0176-23-5121 (代表)

総看護師長：〇〇 〇〇

研修担当者：副総看護師長 〇〇 〇〇

研修プログラム<十和田市立中央病院>

	時間	研修内容	担当者	場所
11月12日 (水)	9:15	集合		総合案内
	9:15~9:30	更衣		
	9:30~10:00	打ち合わせ・実習オリエンテーション	〇〇副総看護師長 中村, 吹田 (研究者)	
	10:00~10:30	病院紹介	〇〇総看護師長	
	10:30~11:00	施設見学	〇〇副総看護師長	
	11:00~12:00	プリセプター紹介 病棟研修	プリセプター	
	12:00~13:00	昼食休憩		会議室
	13:00~14:30	病棟研修	プリセプター	
	14:30~15:30	「リハビリテーション」	理学療法士・ 作業療法士	
	15:30~16:00	本日の反省会と翌日の計画調整	〇〇副総看護師長 吹田 (研究者)	会議室
11月13日 (木)	9:30~12:00	病棟研修	プリセプター	
	12:00~13:00	昼食休憩		会議室
	13:00~14:30	病棟研修	プリセプター	
	14:30~15:00	講義「医療安全」	〇〇副総看護師長	会議室
	15:15~15:45	講義「感染対策」	〇〇副総看護師長	会議室
	15:45~16:00	本日の反省会と翌日の計画調整	〇〇副総看護師長 吹田 (研究者)	会議室
11月14日 (金)	9:30~12:00	病棟研修	プリセプター	
	12:00~13:00	昼食休憩		会議室
	13:00~13:30	講義「訪問看護」	〇〇副総看護師長	会議室
	13:30~14:00	講義「褥瘡」	〇〇副総看護師長	会議室
	14:00~14:45	研修者グループディスカッション (研修者と研究者)		会議室他
	14:45~15:15	プリセプターグループディスカッション (プリセプターと研究者) 研修者はアンケート記録等		
	15:15~16:00	合同ディスカッション (研修者・プリセプター, 看護師長・研究者)		

## 研修者配置及び担当プリセプター氏名

研修者(所属)	主な研修希望内容	病棟	プリセプター	病棟看護師長
G ( □□□ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 症状アセスメント</li> <li>・ 看取りのケア</li> <li>・ 倫理的判断</li> </ul>	東3A病棟 糖尿病, 肝臓疾患, ターミナル期	△△ △△	○○ ○○
H ( □□□ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染管理</li> <li>・ 安全管理</li> <li>・ リスクマネジメント</li> <li>・ 倫理的判断</li> </ul>	東2病棟 消化器外科	△△ △△	○○ ○○
I ( □□□ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療処置</li> <li>・ 痴呆への対応</li> <li>・ 感染管理</li> </ul>	東4病棟 呼吸器内科, 脳疾患(慢性)	△△ △△	○○ ○○
J ( □□□ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 症状アセスメント</li> <li>・ リハビリテーション</li> <li>・ 痴呆への対応</li> </ul>	東4B病棟 脳外科	△△ △△	○○ ○○
K ( □□□ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療処置</li> <li>・ 緊急時の対応</li> <li>・ 感染管理</li> </ul>	東3B病棟 循環器内科, 皮膚科	△△ △△	○○ ○○

## その他

- 1) 研修前に, 各病棟の主な疾患の看護の他, 下記の内容を自己学習して臨んでください。
  - ① 緊急時の対応として施設では何が必要とされているのか, 自分が分からないこと, 学習したいことは何か明確にすること。
  - ② 看護計画(特に退院サマリー)について, 病院看護師とお互いに意見交換できるように見直す。
- 2) 研修初日の集合場所: 9:15 総合受付(正面玄関より入る)  
9:30 オリエンテーション
- 3) 欠席などの連絡: 副総看護師長 ○○ ○○ (内線○○○)
- 4) 服装: ユニフォーム(看護衣, ナースシューズ)
- 5) 控え室および会議室: 2階会議室
- 6) 昼食: 2階会議室でおとりください。食堂は利用できませんので各自で準備してください。